



NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL

### さらに充実した「大刀剣市」のために アンケート結果まとまる

■昨年十一月一〜三日に開催した第二十七回「大刀剣市」に出店された皆さまに、共同販売の継続的な改善を目的として、十二月にアンケート調査を実施しました。一昨年は実施しなかったため、二年ぶりの調査となりました。以下に調査結果をまとめ、ご報告します。

(開催日の希望)	・ 十月下旬〜十一月上旬……………39%	・ 必要……………0%
	・ 十一月初旬〜十一月中旬……………21%	・ ローンは各店舗で……………6%
	……………	(特別展覧会について)
(開催場所)	・ 現状……………57%	・ 大河ドラマに合わせて……………54%
	・ その他……………6%	・ 良かった……………42%
	(カタログの出来上がり)	・ 独自の特別企画が良い……………15%
	・ 満足……………63%	(お宝鑑定について)
	・ 不満足……………3%	・ 良かった……………42%
	・ どちらとも言えない……………3%	・ 悪かった……………6%
	・ どちらとも言えない……………3%	(抽選会について)
(組合ホームページへの商品掲載)	・ 来年も掲載……………39%	・ 来年も継続すべき……………42%
	・ 掲載しない……………15%	・ やめる……………3%
	・ どちらとも言えない……………18%	・ 抽選方法を変える……………3%
(広告媒体について)	・ 良い……………42%	(セキュリティについて)
	・ 悪い……………0%	・ 満足……………48%
	・ 現状で良い……………15%	・ どちらとも言えない……………6%
	(クレジット分割ローン扱い)	(事前説明会について)
	・ 必要……………63%	・ 大変わかりやすかった……………48%
		・ 普通……………15%
		・ わかりづらい……………0%
		(今年の大刀剣市は成功したか)
		・ 成功……………42%



ますます賑わいを見せる大刀剣市だが…

#### 「お客さまの声」

- 高齢者のために、もう少し休憩所を広くできませんか。
- 抽選会を楽しみにしています。
- お宝鑑定にて、鑑定員の対応が不満だったと、開催中申し出を受けました。
- 改善発展につながるよう、アンケート調査では別紙を同時に配布し、広くご意見とご要望をいただきましたが、次のような内容も寄せられています。要約してご紹介します。
- 大刀剣市を、時には地方都市にて開催希望。
- 照明器具の一律LEDへの変更。
- 会場が二つに分かれない、平等性のある場所へ改める。
- 特別展覧会は独自の企画で行ってほしい。
- カタログ掲載のページ数を限定せず、希望者には増してもよいのでは。
- メディア等に取材、紹介してもらえないような企画の追加。
- 広告媒体への予算比率の見直し、また新たなメディアへ追加と変更。
- 乗降客の多い駅近くに会場を移し、広告媒体の活用により

2015.3.15 No.22

発行人 深海 信彦  
発行所 全国刀剣商業協同組合 編集委員会  
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10  
新宿スカイプラザ1302  
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089  
http://www.zentosho.com/

第22号編集担当  
赤荻 稔 朝倉 忠史 飯田 慶雄 伊波 賢一  
大西 芳生 大平 将広 川島 貴敏 嶋田 仲夫  
清水 儀孝 生野 正 新堀 賀将 瀬下 明  
土子 民夫 綱取 譲一 土肥 富康 服部 暁治  
深海 信彦 松本 義行 賀賀 吉也 持田 具宏

### 第28回通常総会は5月17日

- 組合員の皆さまには、日ごろより組合活動に対して多大なるご協力と深いご理解をいただき誠にありがとうございます。
- さて、第二十八回通常総会は来る五月十七日(日)午前十時より、東京美術倶楽部において開催します。前年にも増して皆さまのご出席をお待ちします。
- なお、総会終了後、特別交換会を開催します。追って事務局よりご案内をお送りします。
- 当日の審議事項は下記の通り。
- ①開会の辞
  - ②出席状況報告
  - ③理事長挨拶
  - ④議長選出
  - ⑤議事宣言
  - ⑥資料確認
  - ⑦議案審議
  - (第一号議案) 平成二十六年年度
  - 一般客を増やす。
  - 海外からのお客さまは、十一月中旬ごろの開催を希望。
  - 抽選会において、DMの回収によって得た情報が生かされていないので、抽選方法を見直す。
  - 各店の陳列方法に変化と進化を求め、マンネリ化を打開する。
  - 今回のアンケート調査は、七十四店舗中、二十二の出展者の方より回答をいただきました。三分の一に届かない、残念な回答率となっています。
  - 昨年初めて行われた出展者事前説明会は、多くの方が既認識している内容が多いにもかかわらず、なぜ開かれたのでしょうか。それは、組合が外部に発
- 事業報告承認の件、平成二十六年度会計報告承認の件、監査報告
- (第二号議案) 平成二十七年事業計画決定の件
  - (第三号議案) 平成二十七年収支予算決定の件
  - (第四号議案) 役員報酬の件
  - (第五号議案) 経費の賦課及び徴収に関する件
  - (第六号議案) 平成二十七年借入金残高の最高限度に関する件
  - (第七号議案) 一組合員に対する貸付、また一組合員の為にする債務保証残高の最高限度に関する件
  - (第八号議案) 役員改選に関する件
  - (第九号議案) その他
  - ⑧総会議事終了宣言
  - ⑨閉会の辞

信する唯一の一大イベントです。ので、出展者全員がさらに参加意識を高めていただき、申し込めば誰でも出展できるという安易な認識から脱却するための第一歩であったのではないかと思います。

回答率を見ただけでも、出展者の方々の意識の向上を仰がなければなりません。大刀剣市には、今後も経済状況や来場者のニーズの変化に対応しながら、進化が求められるものと思えます。皆さまの建設的なご意見をさらにお聞きしたいと実行委員会は考えております。

この度は年末のお忙しい中、アンケート調査にご回答をくださった。誠にありがとうございます。(嶋田伸夫)

刀剣・書画・骨董

## 和敬堂

土肥豊久・土肥富康

〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16  
TEL 0258-33-8510  
FAX 0258-33-8511

http://wakeidou.com/

美術刀剣・刀装小道具商

## やしま

齋藤雅稔・隆久・隆洋

刀装小道具通信販売目録「やしま」  
年間10回位発行予定  
購読料10回 2,000円(郵便切手可)

〒202-0022 西東京市柳沢6-8-10  
TEL 042-463-5310  
FAX 042-463-7955

金工・刀身彫刻・修理・諸工作一式

## 柳匠堂

### 柳村宗寿

岡山市北区平和町二一八  
TEL 〇八六二二二二二二二二二二九  
TEL 〇八六二二二二二二二二二二九  
工房 岡山市北区磨屋町七二二  
TEL 〇八六二二二二二二二二二二九  
FAX 〇八六二二二二二二二二二二九

刀剣古美術

## 町田久雄

三峯美術店

埼玉県秩父市野坂町一六六一  
西武秩父駅連絡通路町久ビル内  
TEL 〇四九四二二二二二二二二二二六  
FAX 〇四九四二二二二二二二二二二六

美術刀剣、小道具、武器類の  
売買、加工及び御相談承ります

## 大阪刀剣会

### 吉井唯夫

大阪市中央区日本橋二一七一  
TEL 〇六一六六三二二二二二二二二〇  
TEL 〇六一六六三二二二二二二二二〇  
FAX 〇六一六六四四一五四六四

# 刀 剣 界

## 文化芸術立国の実現に向けて シンポジウム「五輪の年には文化省」が開催される

十一月十三日、東京美術倶楽部において超党派・文化芸術振興議員連盟および文化芸術推進フォーラム主催のシンポジウム「五輪の年には文化省」が開催されました。会場には、実演芸術・映画・美術関係者など十五団体で構成する文化芸術推進フォーラム関係者など、約四百名が参集しました。

伊藤信太郎文化芸術振興議員連盟事務局長進行の下に開会。冒頭、野村萬文化芸術推進フォーラム議長より、「文化省」創設は政治主導で果たされるべき重要案件であり、文化芸術振興議員連盟が中核となること、実演芸術という「国技」を担う者としてそれを支えたく参集したという挨拶がありました。

河村建夫文化芸術振興議員連盟会長の基調講演では、音楽議員連盟として発足した連盟の歴史を振り返り、平成十三年に成立した文化芸術振興基本法を礎とし、幅広い文化芸術振興を目的とし、現在の名称へと変更を遂げたことが紹介されました。そして、文化予算



左から、コーディネーターの鈴木寛氏、パネリストの逢沢一郎(自民党)・浮島智子(公明党)・古川元久(民主党)・小熊慎司(維新の党)・三谷英弘(みんなの党)・宮本岳志(共産党)各衆議院議員

を国家予算の〇・五パーセントとすることを目指し、文化の振興のために思いを一つにして共に取り組んでいきたいと述べられました。続く講演では、下村博文文科相学大臣より「文化芸術立国中期プラン」について、甘利明経済再生担当大臣より「クールジャパン戦略」文化芸術と経済財政政策について、近藤誠一前文化庁長官より「文化芸術をもっと外交に生かす必要性」と題して、それぞれの立場から進める文化振興に向けてのビジョンが熱く語られました。

パネルディスカッションでは、各パネリストの視点から日本のことを受託、鈴木寛氏(東京大学・慶応大学教授)より文化省の創設と予算の拡大、助成のあり方として省庁間の連絡の緊密化や政府の人材育成などが挙げられ、パネリスト全員が賛同しました。最後に、河村建夫議長が議長を兼ねて日本の文化芸術振興のために活動し、まずは文化省の創設と予算の拡大に向け歩みを進めることが宣言されました。

会理事長の挨拶で中締めとなり、各分野を代表する人々が集い、日本の文化芸術振興に向けて懇談する貴重な機会となりました。

### 全美連に加入しよう

この文化芸術推進フォーラムの美術商分野は、「全国美術商連合会」(以下「全美連」) 浅木正勝会長が担っています。株式会社東京美術倶楽部の浅木会長を中心として、設立当時から政・官・民の各方面に幅広く働きかけ、業界の社会的信頼を高め、発展を図ることに、わが国の文化芸術振興に寄与すべく、積極的に活動を続けてきました。私たち全国刀剣商業協同組合の理事長は、全美連の理事として会議等に出席しています。それではここで、全美連の会員に向けた近年の活動について、事案をご紹介します。

まずは、美術品の減価償却の見直しについてです。法人税法施行令第十三条では、「時の経過によりその価値の減少しないもの」は減価償却資産から除外すること規定されています。しかし、美術品等(絵画や彫刻等の美術品のほか工芸品など該当。以下同義)については、これを減価償却資産とすべきかどうかの判断はきわめて困難です。そこで実情に即した見直しを働きかけ、「美術年鑑等の記載の有無」「取得価額」「利用法による価値の変化」の面で改正が実現しています(詳細は国税庁ホームページ参照)。

また、今後導入予定の「社会保障・税番号大綱」いわゆるマイナンバー制が、いよいよソフト面を着地点を決めていく時期にあるこ



浅木正勝全美連会長

とは、耳にされている方も多いでしょう。実は、これが美術業界全体にも影響する懸念を早期に認識し、慎重な対応を検討しています。そして中古取引における軽減税率導入時の特例など、政府検討事項への対応もあります。

これらには業界はもちろん、政府や有識者、法曹界とのつながりも大切です。古物商許可を受け、事業主として税制に携わる私たちに、それを取り巻く変化を知り、対応して行動することが求められるでしょう。

減価償却の件は、刀剣業界で流通する物件が対象になりにくい一方、商業活動全体の中で税制についてはとても重要です。法律はいつたん決まると、その効力は絶大ですが、決定までに認識の向上と現状に即した調整が大切なこととは、申し上げるまでもありません。

さて美術業界全体のために、私たちは、何ができるのでしょうか？ まずは「全美連」に美術業界の一員として加わり、業界の悩みや要望を共有し、それらの問題解決を図りつつ、共に発展できればよいと考えます。

美術を商う方は、どなたでも入会できます。刀剣業界に限った要望は、単独で動く必要もあるかと

## ■全刀商の活動 組合機関紙『刀剣界』編集委員会

隔月で発行されているこの『刀剣界』新聞は、以前発行されていた『組合だより』に代わる新たな機関紙として、平成二十三年九月に発刊しました。

本紙は組合機関紙ではありませんが、同時に刀剣界全体の情報紙を自任しています。そこで、組合活動や刀剣業界の出来事を広く掲載し、組合員、賛助会員、愛刀家や全国の美術館・博物館などにも現在無料で配布しています。

編集委員の構成は当初、「大刀剣市」のカタログ制作に携わる組合員の多くがスライドしてのスタートでしたが、常に斬新な多くの情報を発信しようと、エネルギーが豊富な若い組合員にも参加してもらいました。『刀剣界』編集委員会は、総務委員会の教育情報部会に所属する正規の組織です。

編集委員は毎月行われています。発行は奇数月ですが、完成するの間髪を入れず、次号の企画に取りかかります。持ち回りの担当委員(二名)を中心に全編集委員が集まって議論を重ね、中身と執筆者を決めます。号によって題字下の編集委員名に異同があるのは、たまたま編集作業に参加できない委員が出るためです。

前回も、都道府県教育委員会が発行される銃砲刀剣類登録証の問題点が組上に載りました。作成時の行政側のミスが少なくないため、名義の書き換えをしようと申請すると、現物の刀剣と原本や登録証の記載内容が一致しないケースが出てきます。すると、現所有者への名義書き換えができないばかりか、銃刀法違反として善意の申請人が取り締まり対象にさせられるかねないのです。

このような真剣な議論の中から、企画テーマが生まれることもしばしばです。登録問題は、いずれ特集で取り上げられるでしょう。編集委員はほかに、校正を中心として、二、三回行われています。執筆を割り当てられた委員は、イベントや催事に出かけたり、対象を取材したりして記事にします。当初は書き慣れていなかった者も、最近では紙面構成に苦心するほど長文を書いており、組合機関紙制作を通して、編集員は否応なく鍛えられています。

個性ある文章で、時には読者のご指摘をいただくこともあります。が、愛刀家の方々より「毎号楽しみにしています」との声を聞くことも多くなってきました。



真剣に校正に取り組む編集委員の面々

「全美美術商連合会」についての情報、また加入申込書の請求はホームページまで。  
http://zenbiren.jp/  
印刷物が必要な方は全刀商事務局まで  
文化芸術推進フォーラムについては、http://ac-forum.jp/

古銭 切手・刀剣 売買 評価鑑定  
**株城南堂古美術店**  
代表  
**田中 勝憲**  
〒153-0051  
東京都目黒区上目黒四-3-1-10  
TEL 03-3771-0167  
03-3771-0168  
03-3771-0169  
FAX 03-3771-0167

「刀剣界」は、組合員や賛助会員だけでなく、日本刀に携わるすべての人々を対象に、等身大の姿を紹介しています。日本刀に対して、一般の方々には武器としての認識がまだ根深くある中、刀剣という文化財に関わる趣旨やきっかけを刀職者や愛刀家の方々に語っていただき、刀剣類の持つ精神文化の奥深い魅力を伝えることができればと願っています。

「刀剣界」は第一号からすべて組合ホームページに掲載してきます。いつでも誰でも見ることができ、バックナンバーでたどることも可能です。

一般の社会分野と比べて、決して注目度や話題性が多いわけではない刀剣業界です。一つでも多くの情報を定期的に平等に発信していければ、「刀剣界」編集委員は考えています。

私たち編集委員は、体裁を保つだけの機関紙とならぬよう自戒しています。組合員や賛助会員だけでなく、講読者の皆さん一人一人が編集委員であり特派員だとお考えいただきたいと思っています。

みんなで作る業界新聞『刀剣界』への投稿をお待ちしています。  
(嶋田伸夫)

# 新作名刀展に「高松宮記念賞」が再開

本年の新作名刀展から高松宮記念賞が再開いたします。近年の公益財団法人日本美術刀剣保存協会の運営状況などを鑑みて、再開決定の運びとなりました。

本欄では、再開に当たってあらためてその意義深さを再認識すべく、その栄えある歴史を回顧することといたします。

高松宮記念賞は、昭和四十八年の第九回新作名刀展から、高松宮賞としてその歴史を歩み始めています。光輝ある第一回の受賞者は吉原義人刀匠でした。この年の新作名刀展は、四月に上野松坂屋で開催され、会場には殿下の御臨幸を仰ぎ、熱心にご覧になったこと

が当時の『刀剣美術』誌からも伺うことができます。華麗な歴史が始まったのです。

吉原刀匠は翌年も受賞され、その後は以下の方々がこの賞を受賞されました。

- 月山清刀匠・小澤岩造刀匠・河内道雄刀匠・上林勇二刀匠・大野三男刀匠・山口武刀匠・高橋次男刀匠・宗勉刀匠・三上孝徳刀匠・宮入恵刀匠・宮入法廣刀匠・尾川邦彦刀匠・吉原義一刀匠・尾川光敏刀匠・宗正敏刀匠・松田周二刀匠といった方々であります。まさに現在の作刀界を担う錚々たる面々と言える方々です。

高松宮記念賞が作刀界にいかにか

大きな励みと栄誉となってきたかが、この受賞者のお名前を一瞥しても理解されます。

このような大変に名誉ある素晴らしい賞が再開されることは、刀剣界にとっても慶事であり、刀匠の皆さんにとっては最大の目標となることは申すまでもありません。

故高松宮同好殿下の伝統工芸への思いを、われわれはしっかりと受け止め、日本刀のみならず日本文化伝承の担い手として日々精進し、さらなる高みを目指していきましょう。  
(公益財団法人日本美術刀剣保存協会 たら課長 黒澤哲哉)



■刀剣育成シミュレーションブラウザゲーム「刀剣乱舞」の気はとどまるところを知らず、日本刀関連書籍の売り上げも急速に伸びている。1月16日に発売された別冊宝島『日本刀』は、昨年発売した第1弾と合わせて累計23万部を超えた。こうした動きに対応し、紀伊國屋書店新宿本店では日本刀関連書籍の特設コーナーを開設、さらに関連グッズも種々取りそろえて販売している。



現時点で所在不明と判明した国指定文化財(刀剣類)

国宝/重文	指定年	指定名称	国宝/重文	指定年	指定名称
国宝	昭和26年	刀(金象嵌銘天正十三十二月日江本阿弥磨上之(花押)所持稲葉勘右衛門尉(名物稲葉江))	重要文化財	昭和49年	剣(銘光忠)
国宝	昭和28年	短刀(銘国光)	重要文化財	昭和28年	短刀(銘安吉)
国宝	昭和38年	太刀(銘吉平)	重要文化財	昭和14年	太刀(銘国資)
重要文化財	昭和6年	太刀(銘来国次)	重要文化財	昭和27年	太刀(銘備前以下切)
重要文化財	昭和15年	太刀(銘備前国長船住長義)	重要文化財	昭和35年	太刀(銘守利)
重要文化財	昭和27年	太刀(銘備前国長船兼光/延文元年十二月日)	重要文化財	昭和6年	短刀(銘左/筑州住)
重要文化財	昭和27年	太刀(銘来国光)	重要文化財	明治44年	太刀(無銘)
重要文化財	昭和34年	短刀(銘国光)	重要文化財	明治44年	太刀(銘忠吉)
重要文化財	昭和14年	太刀(銘久国)	重要文化財	大正11年	太刀(銘遠近)
重要文化財	昭和28年	太刀(銘備前長船秀光/応安二年十月日)	重要文化財	昭和6年	太刀(銘助包)
重要文化財	昭和13年	刀(無銘(伝則重))	重要文化財	昭和15年	太刀(銘則重)
重要文化財	昭和17年	太刀(銘国安)	重要文化財	昭和27年	短刀(銘相模国住人広光/延文五年八月日)
重要文化財	昭和39年	刀(折返銘備前長船兼光)	重要文化財	明治44年	短刀(表三島大明神他人不与之/裏二貞治三年藤原友行/銘アリ)
重要文化財	昭和16年	太刀(銘為清)	重要文化財	昭和10年	太刀(銘順慶)
重要文化財	昭和6年	太刀(銘守次)	重要文化財	昭和33年	太刀(銘光忠)
重要文化財	昭和10年	太刀(銘来国光)	重要文化財	昭和31年	太刀(銘助真)
重要文化財	昭和16年	太刀(銘安芸国入西/永仁五年閏十月日)	重要文化財	昭和10年	太刀(銘光忠)
重要文化財	昭和10年	太刀(銘一)	重要文化財	昭和29年	刀(金象嵌銘元重/本阿弥(花押))
重要文化財	昭和15年	太刀(銘雲次)	重要文化財	昭和28年	太刀(銘兼氏)
重要文化財	昭和16年	刀(無銘伝光忠/高麗鶴と金象嵌在銘)	重要文化財	昭和27年	刀(無銘伝貞宗(幅広貞宗))
重要文化財	昭和15年	太刀(銘長光)	重要文化財	昭和28年	短刀(銘景光)
重要文化財	昭和27年	短刀(銘備中国住守次作/延文二年八月日)	重要文化財	昭和33年	短刀(銘国光/元応二年三月廿日)
重要文化財	昭和8年	太刀(銘長光)	重要文化財	昭和45年	三銘柄剣(銘重吉入道作/元亨二二正月七阿闍梨賴宣)
重要文化財	昭和9年	太刀(銘久国)	重要文化財	昭和28年	太刀(銘景光)
重要文化財	大正5年	太刀(銘信房作)	重要文化財	大正15年	太刀(銘安吉)
重要文化財	昭和27年	太刀(銘備前国長船住長光作/正安二年二月吉日)	重要文化財	昭和2年	太刀(銘貞和三年丁亥十月日守吉作/防州白崎八幡宮御剣頭源兼胤)
重要文化財	昭和28年	刀(無銘伝長谷部国重)	重要文化財	昭和11年	刀(無銘(伝助真))
重要文化財	昭和31年	太刀(銘備前国住雲次)	重要文化財	昭和2年	太刀(銘行真/搦山金造螺鈿鞘野太刀)
重要文化財	昭和16年	太刀(銘家忠)	重要文化財	昭和3年	刀(銘慶長九年二月吉日信濃守国広作/依賀茂県主保經所望打之)
重要文化財	昭和11年	太刀(銘光忠)	重要文化財	昭和31年	剣(銘国永)
重要文化財	昭和16年	刀(無銘(伝正宗))	重要文化財	昭和29年	短刀(無銘貞宗(名物池田貞宗))
重要文化財	昭和28年	太刀(銘備前国長船住景光/元弘四年二月日)	重要文化財	昭和16年	太刀(銘備前国長船住景光)
重要文化財	昭和27年	太刀(銘吉家)	重要文化財	大正14年	太刀(銘来国光)
重要文化財	昭和30年	刀(無銘伝正宗)	重要文化財	大正14年	脇指(銘国広鎌倉住人/文保二年二月日)
重要文化財	昭和14年	太刀(無銘(伝正宗))	重要文化財	昭和30年	太刀(銘波平家安)
重要文化財	昭和17年	太刀(銘備前長船住景光)	重要文化財	大正7年	鑢頭太刀(無銘)
重要文化財	昭和30年	刀(金象嵌銘助光磨上光徳(花押))	重要文化財	昭和6年	太刀(銘来国俊/永仁五年三月一日)
重要文化財	昭和12年	太刀(銘国行)	重要文化財	明治39年	牡丹造短刀
重要文化財	昭和30年	短刀(銘来国光/元徳二年以下切)	重要文化財	明治42年	太刀(銘長光)
重要文化財	昭和24年	太刀(銘定吉)	重要文化財	昭和31年	刀(無銘義弘(名物豊前江))
重要文化財	昭和30年	短刀(銘賀州住真景/貞治六年月日)	重要文化財	大正8年	刀(銘主馬首一平安代敬白云々アリ)
重要文化財	昭和27年	太刀(無銘伝光忠)	重要文化財	大正7年	刀(無銘(伝則重))

## NEWS & TOPICS

### 所在不明の国宝・重文二八〇件に

国宝・重要文化財に指定された美術工芸品が所在不明となっている問題で、文化庁は一月二十一日、第二次調査を取りまとめた結果を発表した。それによると、全指定品一万五二四点の二七〇％に当たる一八〇件が所在不明で、国宝九点を含む六八件はなお調査中としている。

文化庁は平成二十五年十一月、都道府県教育委員会に全件を対象とした初の所在調査を依頼し、昨

年七月、第一次取りまとめとして一〇九件が所在不明だと公表した。第二次調査は、都道府県域を越えて移動するなどして確認できなかった三三八件が対象。その結果新たに七二件が所在不明と判明した。一件については、前回所在不明とされたが、購入した原所有者が名乗り出て、所在がわかった。一八〇件が所在不明となった理由は、所有者の転居が六九件、死去四〇件、盗難三三件など。文化

財保護法は、所有者や所在地の變更に際し、届け出を義務づけているが、これらはなされていない。文化財の種類では、刀剣が八六件と最多である(別表)。これは、国指定文化財の中で、刀剣が国宝一二二件、重文七九〇件と群を抜いて多いこともあるが、文化庁では「個人愛好家が多く、所有者の没後、相続者が存在自体を忘れたり、法律を知らずに売却しているのではないか」とみている。

今後、引き続き所在不明の文化財の追跡や、再発防止策を講じていくという。

刀剣・小道具・甲冑武具  
目白 飯田高遠堂  
代表取締役 飯田慶久  
〒161-0033  
東京都新宿区下落合3-17-33  
TEL 03-3951-3312  
FAX 03-3951-3615  
<http://www.iidakoendo.com>

(株)美術刀剣松本  
松本 富夫 義行  
〒278-0043 千葉県野田市清水199-1  
TEL 04-7122-1122  
FAX 04-7122-1950  
[www.touken-matsumoto.jp](http://www.touken-matsumoto.jp)

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑  
日本の伝統文化を彩る  
JAPAN SWORD CO., LTD.  
(株)日本刀剣  
伊波賢一 Ken-ichi Inami  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1  
TEL 03-3434-4321  
FAX 03-3434-4324

銀座 泰文堂  
〒104-0061 東京都中央区銀座4-3-11  
松崎煎餅ビル4階  
(株)銀座泰文堂 代表 川島貴敏  
TEL 03-3563-2551  
FAX 03-3563-2553  
フリーダイヤル 0120-402037  
<http://www.taibundo.com>

刀剣 高吉  
古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!  
連絡先 090-8845-2222  
代表者 高島吉童  
東京都北区滝野川7-16-6  
TEL 03-5394-1118  
FAX 03-5394-1116  
[www.premi.co.jp](http://www.premi.co.jp)

# 刀 剣 界

平成27年3月15日発行(隔月刊)



## 4 佐野美術館 三島良いところ、何度でも

静岡県三島市の佐野美術館を訪ね、特別展「人の縁は、もの縁」(一月九日～二月十五日)を見学しました。

佐野隆一氏(一八八九～一九七七)によって創設され、昭和四十四年十一月十日開館したこの美術館は約二千五百件に及ぶ日本・東洋の美術品を収蔵し、年間七、八回催される企画展のテーマは刀剣・人形・絵画・絵本など、実に多岐にわたります。また講座や鑑賞会などのイベント、学校への出張授業も行い、美術鑑賞の普及啓蒙にも熱心で、地元では「さのび」の呼称で親しまれています。

今回は静岡県沼津の実業家・矢部利雄氏(一九〇五～一九九六)のコレクションの企画展。目玉は本多平八郎忠勝遺愛の槍、名物蜻蛉切です。気持ちの良い天気だったので、三島駅から歩いて美術館へ。所々にベンチが置かれてあり、せせらぎを聞きながら休憩できます。三島は素敵な街です。美術館に到着し、はやる気持ちを抑えながら、いざ展示室へ。ずらりと展示された名品に思わず息を飲みます。



「さのび」の略称で親しまれている佐野美術館

刀の展示室へ入ると、まず一文字の太刀(国宝)が目飛び込んできます。雄渾な姿に、詰み澄んだ地鉄には映りが立ち、華麗な刃文、しかも刃の中は純白の沸と匂が満々としている感じがガラス越しに伝わってきます。長篠の合戦で奥平信昌が恩賞として拝領した歴史的な一振です。

ゆっくり進んでいくと、真長の太刀(重要文化財、本多家伝来)、長船近景の太刀、伊達家伝来の古備前景則の太刀、古青江貞次の太刀、了戒の太刀と舌名刀が続きます。新刀では津田越前守助廣(角津田)の瀟灑乱刃の刀、肥前國忠吉、近江大塚忠廣、陸奥守忠吉と、肥前橋本家の三代の名品が並んでいます。

「蜻蛉切は？」と見渡すと、人だかりができていて、すべかりました。幅広で力感のある姿に、彫りが誇らしげに刻まれているように見えました。地刃は冷たく澄んでいますが、これなら薄羽の蜻蛉も切れるかもしれないと思えました。そして同時に「ほとんど未使用だろうなあの印象を受けました。展示室は平日にもかかわらず、多くの来観客で賑わっていました。若い人、とりわけ女性の姿が目立ちました。「この鞘、かわいいね」「こういうのが当時の人のセンスだったのかしら」「すごいねえ」という声が如く聞かれます。「おや、小島さん、小島さんじゃないのぉ」という張りのある大きな声。知人です。「いや、インスピレーションですな」とご機嫌です。来る途中、私は「あの人、どうしたかなあ、初めてで道わかるかなあ、大丈夫かなあ」と思い出していたのですが、まさか会場で出会うとは！「小島さん、忠吉をご覧になりましたか。いいですねえ」。知人のお気に入りには五字忠吉でした。「いや、きれいですねえ。そして……ん、これは切れそう、切れる」と満面の笑み。地鉄が詰んで、刃文が水色に澄んで見えます。



## シニョーティングのスヌメ

大西 芳生

このごろシニョーティングが流行っているらしい。シニョーとは耳新しい言葉かもしれないが、語源はフランス語で、狩猟によって捕獲された野生の鳥獣のことである。日本でも古来、マタギが真鴨・雉・鹿・猪・熊などを獲ってきた。宮内庁

では今でも、江戸時代の將軍家から伝わる数カ所の鴨場を管理しており、賓客の接待に使っている。狩猟はかつてヨーロッパ諸国の貴族の嗜みであり、イギリスでは今でも五十万人近いハンターがいるが、日本の狩猟人口は減少の一

途をたどり、一時は四十五万人いたハンターが今では十五万人を切る。おまけに、その半数以上が高齢者だといふ。野生の肉には、硬い、臭い、といったイメージがあるが、必ずしもそうではない。改良に改良を重ねた高級ブランド牛肉とは違い、野生の肉は人の生命を保つのに最適である。脂の乗った部位では脂肪分が手の温度でサラサラと溶け、歯ごたえのある引き締まった赤身

す。一通り見て、再度、離れて眺め、接近して屈んだり、斜めから見たりと自分の視線を変えてみると、いろいろな景色が現れます。「いい地鉄だなあ」などとつぶつぶ言いながら、膝を伸ばしたり曲げたりして見ている姿はちょっと変な人に見えるのでしょ。う。「あー、何か見えるのですか」と尋ねる物好きな婦人もいます。「あー、これはですねえ」と説明すると、「ほんとだ、全然違う景色が見えますねえ」と感心され、ひたすら照れる記者。気に入った作品を繰り返し眺めても、誰にもいやな顔をされません。家業の金物業にいそむかたわら、趣味の世界に遊んだ矢部氏のコレクションは、刀のみならず、仏教絵画や桃山時代の歌舞伎などの風景図屏風、志野・信楽・樂・有田などの陶器、そして室町時代の根来塗と幅広く、しかも質も優れ、卓越した美意識を感じます。それにしても、よくぞこれだけ集めたものです。

気がつくとき数時間が経過してしまいました。至福の一時でした。公益財団法人佐野美術館 〒41-10888 静岡県三島市中田町一四三 〇五五九七五七二七八 休館は木曜日(祝日の場合は開館)、年末年始、展示替え期間 <http://www.sanobi.or.jp/> (小島(こむ))

は野趣にあふれた力強さがある。人工的にドーピングされた肉にくく体に優しいのである。岩塩と香草でマリネした肉塊は、時に野生味に富むが、最適なワインや香味を合わせることで嘘のようにうまい！ 日本で狩猟をしようと思ったら、まずは猟銃ライセンスを取得しなければならぬ。講習と教習、実射テストに身辺調査に精神

今、ご紹介するのは、漆芸家の新義隆さんです。埼玉県所沢市の工房を訪ね、取材させていただきました。新さんは昭和三十三年十一月、同所の生まれ。世界でただ一人漆刀を製作する注目の作家です。漆工芸の技術を兄の光忠さんに習い、漆の世界に入ったのは二十二、三歳ごろで、既に三十五年ものキャリアです。初めは茶道具や時絵を主として折、刀装具の補修などを手がけ、平成元年に坂東一工房を興して漆芸のすべての工程を一人で行うようになりました。現在の漆刀を制作するようになったのは平成九年ごろからで、銃砲刀剣類登録審査員であった父上の市郎氏(大正十二年生まれ)の影響を受けてのことだとか。恐る恐るではあるが刀剣を見る機会に恵まれ、幼少のころから刀に美しさを感じていたそうです。青江貞次の木型を頼まれ、木を削りながら、その何ともセクシーな曲線に魅せられたことから、刀を主題とする漆芸作品を手がけることになりました。世に聞かされた名物を漆刀で作り続け、間もなく五十作に届きます。時絵の歴史は千数百年あり、古臭いと言われがちですが、新さんの漆刀は見たことも聞いたことも



## 実物大の刀剣をリアルに漆でレリーフ

新義隆さん



新義隆さん

なかつた無二の芸域です。地肌や刃文に工夫を凝らし、制作には半年以上かけて、究極の銀時絵が完成するのです。完成した漆刀は木製の額に入られ、背景には、新さんが巡り見てきた坂東武者所縁の地の風物を描いており、作品を情緒豊かにしています。本人曰く、「銀」と「黒」の取り合わせが好きで、金属と漆という相反する素材を用いて鍛えた鉄を表現することは、難しいけれども楽しいそうです。

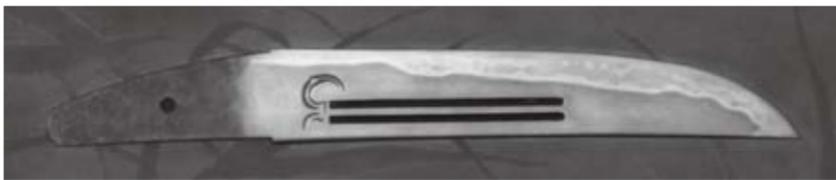
一番気を使うところは、愛刀家に納得してもらえぬ作品かどうかという点で、本歌との違いを指摘されたりしながら、完成度を高めてきたそうです。リアルな作品であるところから、米国での展示を終えて送った折、税関に押さえられたことがあったとか。新さんは二ンマリと笑いながら、「あの一件はアーティストとして勲章をもらった感じですよ」と語っています。

作品は、東京銀座のギャラリーポートをはじめとして、アメリカンクラブ、岡山・テトラヘッドロンのギャ

フリー、京都の下鴨神社などの個展のほか、東京美術倶楽部アートフェア、三越逸品会、高島屋はらの会などの催しにも出展しました。京都清水の三年坂美術館には、代表作品の光忠と次直が収蔵されています。海外でも「London Contemporary Japanese Lacquer 2008」ニューヨーク Christie's Arts of the Samurai で発表、フロリダとニューヨーク刀剣ショーにおいてはグループ展と大活躍です。

一般の方の中には刀は怖いものと、少々偏見もあるようですが、新さんの作品を見て刀に対する見方が変わったとおっしゃる女性のお客さまも多いとか。この事実が、刀剣業界にはボーナスとなる話にも発展する可能性を秘めていると思います。新さんは現在、土方歳三佩刀の和泉守兼定を制作中ですが、これからは髭切・鬼切丸など矢われた伝説の名刀や、弁慶の難刀、近藤勇の虎徹などストーリー性がある作品にも製作の幅を広げていくそうです。漆刀は、これからも私たちが楽しませてくれること間違いなしです。実物大の刀剣をリアルに漆でレリーフする漆芸家、新さんをみんなで応援していきましょう。(生野 正) ■連絡先 0559-1144 埼玉県所沢市西所沢一七二六 〇 四一九二五九三二九 <http://www.bandochi.com/>

代表 紀伊国屋 松浦孝子 〓372-10812 群馬県伊勢崎市連取町一八三六―一 TEL 〇二七〇―二六―七七七八 FAX 〇二七〇―二六―八八七八



名物包丁正宗の1口を本歌とした漆刀

次ページに続く

### 組合こよみ

(平成27年1~2月)

- 1月8日 銀座刀剣倶楽部会場で『刀剣界』第21号編集委員会(校正)を開催。出席者、深海理事長・冥賀副理事長・清水専務理事・服部常務理事・赤荻理事・嶋田理事・生野理事・網取理事・飯田慶雄氏・大西芳生氏・大平将広氏・土肥富康氏・土子民夫氏
- 17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加153名、出来高16,475,000円
- 17日 東京美術倶楽部にて『刀剣界』第22号編集委員会(企画)を開催。出席者、深海理事長・冥賀副理事長・清水専務理事・伊波常務理事・服部常務理事・赤荻理事・嶋田理事・生野理事・瀬下理事・網取理事・持田理事・飯田氏・大西氏・大平氏・土肥氏・松本氏・土子氏
- 2月17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加53名、出来高6,291,000円
- 17日 東京美術倶楽部にて『刀剣界』第22号編集委員会(校正)を開催。出席者、深海理事長・冥賀副理事長・清水専務理事・伊波常務理事・服部常務理事・赤荻理事・嶋田理事・生野理事・瀬下理事・網取理事・持田理事・飯田氏・大西氏・大平氏・土肥氏・松本氏・土子氏
- 27日 刀剣博物館の移転などに関し、日本美術刀剣保存協会の小野会長らと深海理事長ほかが情報交換を行う



今や全国区ブランドの讃岐うどん

香川県は、日本で初めて国立公園に指定された瀬戸内海国立公園の中心に位置し、四国の東北部にあります。地形は半月型で、南部には讃岐山脈が連なり、北部には



### 来まい、食へまい、うどん県

中永善之(聚楽)

讃岐平野が展開しています。面積は全国で最も小さく、平地と山地はおおよそ半ばしています。北は瀬戸内海を挟んで瀬戸大橋で岡山県と結ばれ、東と南は徳島県に

西は愛媛県に接しています。瀬戸内海には多数の島が点在し、風光は誠に美しいものがあります。気候は、四季を通じて温暖少雨で、明るい瀬戸内海の気象に恵まれ、災害も案外少なく、住みやすい土地です。

観光スポットとしては、国の特別名勝に指定されている庭園の中で最大の広さを持つ栗林公園、金

讃岐うどんが名物です。讃岐うどんは、幾度かのブームを経て、全国からうどんを食べに来るうどんツアーも定着してきました。田んぼの中にある納屋のような製麺所スタイルの小さなお店に、休みの日に観光客の行列ができるシーンも、いまや香川の風物詩の一つとなっています。

香川には近代的なテーマパークなどはありませんが、穏やかでのお近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。観光や讃岐うどんをぜひ堪能ください。香川に遊びに来まい!(来てください)

当組合賛助会員宗正敏氏のご尊父勉様が二月二十四日、ご逝去されました。享年八十七歳。宗勉様は福岡市博多区にて作刀。助成しや清磨写しに定評がありました。新作名刀展無鑑査。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



もっぱらスポーツとして楽しんでいるが...

銃砲刀剣所持等取締法、いわゆる銃刀法は、われわれ刀剣商と深く関わる法律であり、行政とのトラブルのほとんどはこれについてではないだろうか。刀剣類や古式銃砲などの美術品と、銃所持の法律が同じだということとは全く解せないが、行政はこれらすべてをひとまとめに原則禁止としている。刀剣類を持つことも、銃銃を持つことも原則禁止。ただし、例外的に所持許可を与えているというスタンスなのである。

私はまだ狩猟を未経験であり、銃銃免許を取ってから十年経たないのでライフル銃も持っていない。今までも、もっぱら散弾銃でクレー射撃をスポーツとして楽しんでいるにとどまる。

散弾銃でも狩猟はできるが、いつか北海道あたりで、ライフル銃で蝦夷鹿を仕留めたいと思っている。とはいえ、結局いつまでたっても、獲物に見立てたクレーを撃っているような気がする。野生動物、それも大型の獣を仕留めるといっては、それなりに覚悟がいる行為なのである。

刀剣業界の現役最長老、スーパー爺さんの異名を取る小澤正晴氏の趣味は狩猟である。毎週、愛犬

現在、県内に七百を超すうどん店があり、県民の生活との密接な関わりがあります。讃岐うどんは麺のコシがしっかりしている、どごしも大きな特徴の一つです。また、麺の量や食べ方をかなり細かく注文することができるとスタイルの店が多く、トッピングの具も自分でアレンジ自由、その楽しさとリーズナブルな価格設定が、讃岐うどんを有名にした大きな要素だったのかもしれません。

「刀剣乱舞」は刀剣ブーム到来の予兆か!?

科医の診断書など、もろもろをクリアするのに半年ほどかかる。うんざりするほど煩雑な手続きに要する努力と時間が、猟銃取得をためらわせる一因になっている。

ローズを車に乗せ、獲物を求めて山々を飛び回る。優しい見た目とは裏腹に、雉を仕留めから交換会にやって来るほどの豪傑である。山に入ったなら、若い者でも小澤氏のスピードには追いつけない。

先号の新春特別インタビューで、小澤氏は元気の秘訣は特になんかと言っているが、そんなことは信用できない。野生の肉を食べているからあんなに元気なんだと、私は思う。近ごろIPS細胞の新技术で若返りが期待されているが、小澤氏を見る限り、野生の肉を食ったほうがよっぽど話が早いのではないかと思ってしまう。

そんな魅惑のシューティング、誰か一緒に狩りに行きませんか?

### NEWS & TOPICS

#### 「藤本鞍斎先生を偲ぶ会」開く

二月十五日、一般社団法人日本甲冑武具研究保存会最高顧問であった藤本鞍斎(本名藤)先生を偲ぶ会が、千代田区のアルカディア市ヶ谷で開かれました。昨年十月に九十七歳で亡くなった藤本先生の温かな人柄を偲び、美術界有識者、同保存会役員・会員などたくさんの方が集まり、令夫人・令嬢・令孫を囲んでの和やかな会となりました。発起人や関係者からの思い出話が披露され、スクリーンに令孫が



最高顧問であった藤本鞍斎氏の遺影

### NEWS & TOPICS

#### 「刀剣乱舞」は刀剣ブーム到来の予兆か!?

最近、若い女性が来店して「三条宗近を見せてください」とか、やはり女性からの電話で「鶴丸国永ありますか?」といった「ん!!」な問い合わせがありませんでしたか? 二〇一五年は年明け早々、われわれの刀剣業界に一体、何が起きているのでしょうか?

その訳は、一月十四日に「刀剣乱舞ONLINE」というオンラインゲームがサービスを開始したことにあったのです。「刀剣乱舞ONLINE」はDMMゲームズとニトロプラスが提供する刀剣育成シミュレーションです。

サービス開始後には多くのプレイヤーが殺到し、急ぎよサーバーを当初の二つから五つに増設、それでも新規プレイヤー受付を停止する事態となり、現在、女性を中心に絶大な人気を見せています。「刀剣乱舞」は、名刀や名槍といった名高い武器を、若い男性の姿に擬人化したゲームです。歴史上の戦場を駆けながら、さまざま刀剣勇士(キャラクター)を集め、自分だけの部隊を育成できる。眉目秀麗な刀剣勇士たちのイラストとともに、豪華声優陣による魅力的なボイスが楽しめることもゲームの大きな特徴となっています。

実際にキャラクターを見てみると「鳴狐」「にっかり青江」「骨喰藤四郎」「一期一振」「江雪左文字」「燭台切光忠」といった名物刀剣や、「和泉守兼定」「堀川国広」「加州清光」「大和守安定」「陸奥守吉行」といった設定も実に細かくミニアックであり、恥ずかしながら私も初めて目にする名物刀剣もありました。

他方では、大型書店に刀剣関連の書籍コーナーが特設されるも、売り切れが続出しているとも聞きます。ゲーム中にも登場する多くの名物刀剣を所蔵する東京国立博物館では、公式ツイッター・アカウントが「最近、刀剣の展示についてのお問い合わせが増えています」との前置き付きで刀剣の展示案内を告知しています。



「国宝 太刀 三条宗近(名物 三日月宗近)」「重要文化財 刀 粟田口国吉(号 鳴狐)」「重要文化財 太刀 大和物(号 獅)」

ブック・レビュー BOOK REVIEW

幕末の古河藩に傑物がいた

『六花落々』

西條奈加 定価一五九八円(税込み) 祥伝社

この物語は、幕末期に実在した小松尚七という古河藩士を主人公にしているが、実際は、われわれも一度は目にすることがある渡辺華山筆、国宝「鷹見泉石」像の、古河藩家老・鷹見十郎左衛門忠常が真の主人公なのである。

下級武士であった小松だが、雪の結晶は「なぜ六花の形をなすのか」「六花とは雪の異称でもある」という問題を深く考える探究心の持ち主故に、鷹見に見いだされ、藩の世継ぎ、土井利位の御学問相手となる。それからは利位・鷹見・尚七の三人で時代を駆け抜けるわけのだが、その内容がまたすごい。

蘭医・大槻玄沢の芝蘭堂での「おろんだ正月」、大黒屋光太夫のロシア帝国での苦勞談、渡辺華山・宇田川榕庵との交流。そして、オランダ商館付き医師、フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトが国禁の日本地図を持ち出したというシーボルト事件である。

このとき、鷹見の知恵により古河藩は危機を免れるのだが、その折、三人の話題に上るのは地図である。これはこの物語のテーマでもあるので、ぜひ読んでいただきたい。この事件の背景に、間宮林蔵が公儀隠密として関わっていたことを初めて知り、驚いている。

最後は、大塩平八郎の乱である。何と、乱のあった天保八年(一八三七)、大坂城代は土井利位である。ということは、忠常も尚七も大坂にいる。まるで歴

史の糸に導かれるように、大事件に直接関わる立場になってしまふ。大塩平八郎親子の探索を指揮したのは鷹見忠常であるというが大塩平八郎を通して忠常と尚七はそれぞれの見解を持つようになる。それでも、離れることなく忠勤に励むのである。

本紙でも紹介したことのある古河博物館だが、ぜひ一度訪れていただきたい。展示品の三割ぐらい



が、鷹見泉石についてである。もちろん、国宝「鷹見泉石」像もある。博物館の向かいには、隠居して暮らした家も残っている。(持田具宏)

鷹見泉石は幕末期、蘭学を政治に生かした傑物である。この本で書かれたことさえ、彼の一部に過ぎないのだ。(持田具宏)

学際的・総合的な和鉄研究の書

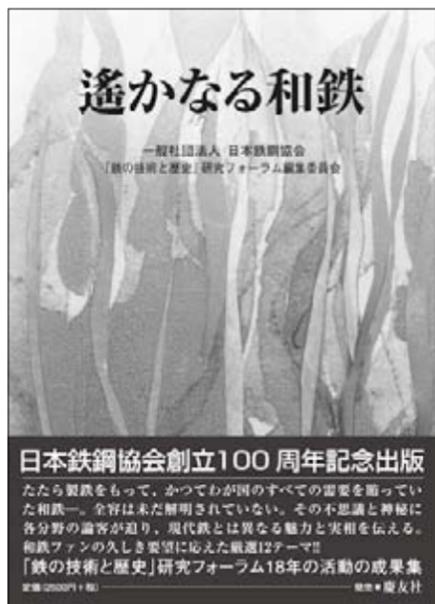
『遙かなる和鉄』

「鉄の技術と歴史」研究フォーラム編 定価二七〇〇円(税込み) 慶友社

去る二月三日、東京大手町・経団連会館において、一般社団法人日本鉄鋼協会の創立百周年の記念式典が関係者役五百人を集めて挙行された。その後の祝賀会には安倍晋三首相をはじめ、宮沢洋一経産大臣、下村博文文科大臣ら錚々たる来賓が駆けつけ、かつて「鉄は国家」のものであった栄光の歴史が彷彿として蘇る印象を受けた(安倍首相は神戸製鋼所に勤めていた。余談ながら)。

「鉄の技術と歴史」研究フォーラムは、日本鉄鋼協会に所属する研究団体であるところから、今回、本書を記念出版として刊行することができた。フォーラムの歴史はまだ十八年であるが、さまざまな分野の専門家から在野の趣味家までが集い、日本の鉄鉄使用開始以降、近代鉄鋼開始に至る間の多くのテーマについて学際的・総合的に研究を重ねてきた。筆者も草創期からのメンバーの一人であ

る。当フォーラムでは後援会などの開催ごとに予稿集を発行しているが、これまでに百八冊・六百六十三論文を数えている。「十八年の活動の成果」とうたっているように、本書はこれまでの集大成であり、和鉄研究の最高レベルを指し示していると言つてよい。金属学・資源工学・考古学・民俗学などの学究のほか、実務家や研究職も交え、変化に富む十二のテーマで構成された。類書は久しく目にしなかったが、和鉄ファンにの要望に応え、現代鉄にはない魅力をも伝える一書である。次にタイトルを紹介する。



「鉄の技術と歴史」研究フォーラム編 定価二七〇〇円(税込み) 慶友社

刀剣商リレー訪問⑩ 新堀徹さん



新堀徹さんと由香理さん

自身が会主を務める愛宕会をはじめ、現在数多くの刀剣市場で競り発句を任される新堀徹さんは、横浜で新堀美術刀剣を営み、新橋刀剣会の会主でもある新堀孝道さんの長子で、二人の弟篤史さんと賀将さんも刀剣界で活躍中で二十年近いキ

ャリアを積み、現在三十七歳の徹さん。品物の相場を知り、市場の雰囲気を読んで場を盛り上げるその手腕は、若手随一と言っても過言ではありません。身長一八二cmのイケメン徹さんを知らない刀剣商はいないでしょう。その徹さん、昨年十一月に元モデルの由香理さんとめでたく結婚、十二月に都内のマンションに新居を構え、新婚生活の真っただ中です。そして今年一月、青年会代表幹事に任命され、若手刀剣商を牽引する立場になりました。公私ともに充実した毎日ではありますが、好きな麻雀と新婚旅行は当然お預けになりそうです。

私が出会った珍品・優品

広井章久(鞘師)

伊賀守金道と丹波守吉道の小刀

小刀の起源は、正倉院の刀子に行き着きます。次は鎌倉時代、父の仇、工藤祐経を討った曾我兄弟の曾我五郎時致の赤木柄短刀に装着されている小柄小刀で、箱根神社にあります。

それ以後、短刀拵や打刀拵に装着され、今日に至っています。昭和四十年代、柴田光男先生の主宰する「小刀会」がありました。私も参加させていただき、たくさんの小刀を拝見しました。清

ご紹介する小刀は、「菊紋」雷除日本鍛冶物匠伊賀守藤原金道の菊水刃と「丹波守吉道」の龍焼刃です。ともに新々刀期のものです。小刀という小さな面に、このように繊細な焼入れがよくできたものと感心します。失敗もたくさんあったのではないかと考えると、刀工の心意気を感じずにはられません。



鑑賞会／(公財)日本美術刀剣保存協会 東京都支部

愛刀家・刀職・刀剣商3つの和

皆さまの中には、日本美術刀剣保存協会の地元支部に参加されている方も数多くいらっしゃるのではないのでしょうか。今回は、私も参加する東京都支部をご紹介します。

年に五回の鑑賞会を実施し、そのうち三回を本部のある刀剣博物館四階講堂、二回を新宿京王プラザ



多くの参加者で賑わう東京都支部鑑賞会

ザホテルで開催しています。五振の入札鑑定刀のほかに、刀剣と刀装具の両方にテーマを定めて鑑賞を行っています。各回を支部役員が交代で担当しますが、熱心で意欲的な役員の方が多く、毎回、驚くような名品を拝見することができ

ます。名品を集めることも大変なことだと思いますが、お借しください

とお持ち主に心配をかけぬよう細心の注意が必要となります。作品保護のため、受付

で手を拭くウェットティッシュを配布したり、鑑賞時にはマスクを使用してもらったり

しています。刀枕はそのまゝの状態では使用せずに、毎回きれいに洗った柔らかい布を巻きます。

近年は、関東一円はもとより、遠くは東海・近畿・中国地方の他支部の方もいらっし

やいます。女性・外国人の方も数多く参加されています。

東京都支部の会員は愛刀家・刀職・刀剣商で構成されており、鑑識眼の向上と相互の親睦が共通の目標です。愛刀家・刀職・刀剣商

それぞれの団体はありますが、三者が共同で運営を行い、お互いが尊重し合える関係を築ける団体は少ないのではないのでしょうか。

実際に、私も東京都支部を通じて多くの方と知り合う機会を得ました。

まだ東京都支部に参加されたことがない方は、ぜひ一度参加されてみてはいかがでしょうか。会場準備や鑑賞会中の運営をお手伝いいただける若手の方の参加も歓迎しています。

■東京都支部事務局 11-1610032 東京都新宿区中落合三丁目一三 〇五〇一三五八四七三七

(賞賛完典)

祈りのかたち―刀工宮入小左衛門行平展

去る二月四日から二十日ま

で、高崎高島屋五階アートギャラリーにて、「祈りのかたち―刀工宮入小左衛門行平展」が開催され



宮入小左衛門行平氏のギャラリートーク

ました。高崎の地では、数年前まで別会場で開催されていましたが、充電期間を経て高崎高島屋での初開催となり、待ちわびた、そして新たな多数の方々のご来場もあり、会場は熱気に包まれました。

本展では、古来から継承されてきた鍛刀技法により作り上げた刀剣類の一部も添え、最新作の二十数点を中心に、一門の川崎晶平・河内一平・根津秀平・上山輝平の作品も、賛助出品として展示販売しました。

「祈りのかたち」と題された本展では、日本刀に宿る精神性と、そこから発せられる魅力や美しさを

のかたちが存分に感じられる作品が並び、会場に足を運んでいただいた方々の心に深く伝わったようでした。

会期半ばの二月七日には、宮入小左衛門行平氏本人によるギャラリートークも開催されました。

会場は満席となる活況ぶりであり、皆さまとても熱心に聞き入っていました。トークは終始和やかに進み、太刀と刀の違いや、名刀とは

どういうものかなど一般的な話から、自身の得意とする作風や、弟子をとって作刀技術を継承する意義についてなど多岐に渡り、予定

の拍手に包まれお開きとなりました。

（刀匠・根津啓）

イベント・レポート

お守り刀展覧会(大阪展)

イベントの工夫で二万人超の来場を達成

去る十一月一日〜十二月二十三日、第九回「お守り刀展覧会」大阪展が大阪歴史博物館において開催されました。

たくさんの観衆が見守る中、午前九時、お守り刀展覧会実行委員長の月山貞利氏から経過報告があり、続いて大阪歴史博物館の栄原

永遠男館長から開会の挨拶をいただき、大阪展での受賞者へ賞状授与が行われました。

引き続き、一般社団法人全日本伝統文化後継者育成支援協会、在大阪カンボディア王国名誉領事館のご協力の下、「お守り刀ファッションショー」が開催されました。

次々に登場する和装やウエディング姿のモデルさんたちの美しさもさることながら、素晴らしい衣装に包まれたお守り刀が一際引き立ち、大勢の観衆を魅了していました。そんな中、白

無垢姿のモデルさんと一緒に川崎晶平刀匠が羽織袴姿で登場。風格のあるランウェイで、和装の結婚式をイメージする空間を完璧にこなしていました。終了後、刀匠

であることが紹介されると、会場からはさわめきが起きていました。ファッションショーは翌二日も行われ、二日間で計三回開催されましたが、ちょうど両日ともにNHKが開催するイベントと合同でステージを利用することができ、各回ともにあふれんばかりの

観衆の中で大盛況となりました。また、一日の夕刻からは場所を変え、一般の参加者約四十名を交えての「お守り刀懇親会」を開催。和やかな会となりました。参加いただいた各刀匠や関係者の皆さまには心より御礼申し上げます。

十一月二十九日には、記念フォーラム「日本刀の生き残り」を開催しました。司会は大坂歴史博物館の内藤直子学芸員に務めていただき、コーディネーターとして全日本伝統文化後継者育成支援協会の木村麻子氏、イラストレーターの新田一平氏、装剣金工師の木下宗風氏に加え、全日本刀匠会からは、坪内祐忠刀匠、川崎刀匠、高見国一刀匠と私も登壇させて頂きました。

同時開催の「2次元vs日本刀展」との共通イベントでもあり、話題はアニメとのコラボ企画や刀職者の後継者について、今後製作してみたい作品などに広がり、参加されたお客さまからの質問も多種多様でした。

十一月中の来場者には、心に残った作品を選ぶ市民審査員の投票に参加していただきました(結果は刀匠会ホームページに掲載しています)。愛刀家の方もいらっしゃると思いますが、小さいお子さんから高齢の方まで、ほとんどが専門的な知識はないはず。それでも、投票をすることに興味心も高まり、一振一振じっくりとご覧になり、キャプションのコメ

ントまで読まれたり、何度も会場内を行き来される方など、普段に比べて会場での滞在時間がずっと長い印象を受けました。

十二月六日には、月山貞利刀匠による作品解説が行われました。同氏が製作した横綱白鵬関の太刀の特別展示などもあり、多くの参加者に熱心に聞いていただきました。

会期中の大阪市内では地下鉄全線でお守り刀展覧会のチラシやポスターを目にする事になり、ある日には地下鉄一車両の中吊り広告すべてがお守り刀展覧会ポスターという日もありました。

土日祝日には刀匠によるプレイトへの銘切り販売、また2次元vs日本刀展のイベントとして作家の夢路キリコ先生や開田裕治先生のサイン会を開催する中で、会期後半にかけて来場者が日増しに増えていき、会期中二万四百五十七名のご来場をいただくことができました。

お客さまの層の広さや熱心に鑑賞される姿などを拝見していると、今の時代、大変ありがたいことだと思います。さらに期待に応えるべく、今後も作品作りに磨きをかけ、展覧会企画にも一層の工夫ができるよう日々努力をしていきたいと思っております。

最後になりましたが、運営にご尽力いただきました皆さまに心より御礼を申し上げます。(お守り刀展大阪展担当・月山貞利)

（刀匠・根津啓）



盛況だったお守り刀ファッションショー

した。今回ご来場の中には、本物の日本刀を間近で見るのは初めてとおっしゃる方もたくさんいました

が、こうして今回、日本刀の素晴らしさに出会っていただけて本当に良かったと思います。

日本刀は武器としてだけでなく、古くからその美しさも賞玩され、精神的な「何か」をたたえた器としても尊ばれてきました。そのような日本刀が、古来から大事に残されてきただけでなく、その製作技術も現代に受け継がれているということの意義をしっかりと認識しつつ、多くの人々にそのことをお伝えしていくことも、また現代に生きる刀鍛冶の責任であるという(こと)を肝に銘じた七日間でした。

（刀匠・根津啓）

佐野美術館

「降泉苑名刀鑑賞会」を開催

一月二十四日(午後二時半)より、静岡県三島市の佐野美術館にて「降泉苑名刀鑑賞会」が開催された。ゆっくりと鑑賞できるようにつ

予約制になっており、若手のお手伝いを含め約六十名が参加された。今回からは他の鑑賞会に似え、マスクの着用や、メモを取る際に

は鉛筆のみ、腕時計や指輪、胸ポケットのボールペンなどの取り外しを来場者に徹底していただき、鑑賞刀への安全を図った。普段は写真やガラス越しでしか拝見できない名刀が二十四点並び、備前は古備前から長船物、山

# 催事情報

## 大阪歴史博物館

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 ☎06-6946-5728  
http://www.mus-his.city.osaka.jp/

### 大坂の陣400年 特別展「大坂—考古学が語る近世都市—」

平成27年は、大坂にとって大きな節目となった大坂夏の陣から400年に当たります。豊臣秀吉が建設し、大坂の陣を経て「天下の台所」として復興を遂げた近世都市・大坂の様子は、およそ30年にわたる発掘調査の積み重ねによって明らかになってきました。本展覧会では、近世大坂に関わる代表的な出土品を一堂に集めて陳列します。

展示の前半では、大坂城が建設される以前の時代から始まり、秀吉による大坂城と城下町の建設、徳川期の都市再建と発展の歴史を、時代を追って展示します。後半では、華麗な桃山陶磁や貿易陶磁、日々の暮らしに用いられた多様な品々、大坂での「モノづくり」に関わる出土品を展示し、近世大坂の繁栄ぶりを紹介します。

併せて、館蔵品を中心に、古絵図や古文書、絵画作品など関連資料を陳列し、近世都市・大坂の歴史と文化・生活・産業のありさまを、よりビジュアルに紹介します。

会期：4月18日(土)～6月8日(月)、火曜休館(ただし5月5日は開館、5月7日休館)



方形桐文金箔瓦 16世紀 大坂城跡出土

## 根津美術館

〒107-0062 東京都港区南青山6-5-1 ☎03-3400-2536  
http://www.nezu-muse.or.jp

### 江戸のダンディズム—刀から印籠まで—

江戸時代、安泰な世の中になると、刀剣や拵には、公式に定められたもののほかに、持ち主の好みによって、約束事にとらわれない意匠を凝らしたものが出現しました。持ち主の身分や財力、教養や季節感を感じさせる、こだわりのアイテムとして発達したのです。

刀身では、華やかな刃文が好まれたほか、刀身彫りという、刀身に龍や剣などを彫刻する装飾的な志向が強まります。拵は、柄・目貫・鐔・小柄・拵など数多くのパーツによって構成されていますが、そこには季節の動植物や、故事に関するものなど多彩な主題があり、そのコーディネートが妙が見どころとなっています。またこれらの刀装具や拵は、小さいながらも彫金や蒔絵、螺鈿な

どの優れた技術によって丁寧に作られており、細部に目を凝らすと珠玉の世界が広がります。

印籠や根付も、同じく男性の持ち物として、装飾性に富んだものが作られました。金や銀、玉や象牙など贅沢な素材をふんだんに使った、斬新なデザインの印籠や根付は、持ち主の好みを端的に表しています。

本展では、幕末から明治期の華やかな拵やバラエティに富む刀装具が多いことで知られる当館所蔵のコレクションから、選りすぐった約100点を展示します。江戸の伊達男たちを飾った、こだわりの品々をお楽しみください。

会期：5月30日(土)～7月20日(月・祝)、月曜休館。会期中、講演会・特別催事あり。

## 備前長船刀剣博物館

〒701-4271 岡山県瀬戸内市長船町長船966 ☎0869-66-7767  
http://www.city.setouchi.lg.jp/token/

### 特別展「無骨・粋 尾張の刀剣展 ～尾張刀匠と尾張・柳生拵～」

日本刀は一千年を超える長い歴史を持っています。この間、戦闘法や社会制度の変遷と、その各時代の流行や風尚を反映しながら発展してきました。

応仁の乱(1467～1477)以来の約100年に及ぶ群雄割拠による全国的戦乱が終りを告げた安土桃山時代になると、従来、備前・大和・山城・美濃・相州などに分散していた刀工群が新勢力である諸大名の城下町を中心として集まり、また「南蛮鉄」と言われる輸入鉄が多く使われるようになり、鍛刀上の大きな変転を遂げています。

織田氏治下の尾張国には、隣接する美濃国から多数の刀工が移住し、中でも尾張三作と称される相模守政常・飛騨守氏房・伯耆守信高などが有名で、美濃本国とやや趣を異にする作品を残しております。

また、刀装は江戸時代になると地方色豊かな拵が生み出されており、その御国拵の代表的なものに薩摩拵・肥後拵・庄内拵・尾張拵などがよく知られています。

今回の特別展では、徳川御三家筆頭で、尚武の気風が強い尾張徳川家の平常拵として創案され、重厚で品の良さを感じさせる「尾張拵」、尾

張二代藩主・徳川光友の兵法指南役であった柳生連也斎殿の指針を本歌として多く模作された「柳生拵」、さらに、美濃国関鍛冶から派生したお抱え鍛冶たちの作品を一堂に展覧いたします。

会期：1月22日(木)～3月22日(日)、月曜休館(月曜日が祝日の場合はその翌日)



## 三河武士のやかた家康館

〒444-0052 愛知県岡崎市康生町561 ☎0564-24-2204  
http://okazakipark.com/museum/iyeiyasu/ka100.htm

### 戦国無双の刀剣展

コーエーテクモゲームスの人気ゲーム「戦国無双」シリーズに登場する武将たちの扱った武器について、現代の刀匠・職人の技術をもって



ゲーム内のデザインを実際に立体化したものを中心に展示します。

そのほかに、古より伝わる武将たちに関連する日本刀や武具、小物といった歴史資料や武将たちのイラストパネルなども併せて展示します。

今回の企画展を徳川家康公生誕の地であるここ岡崎で開催することで、これまで歴史と関わりの薄かった世代でも、日本の伝統文化や家康公、三河武士に興味を持つきっかけとなれば幸いです。

会期：3月14日(土)～5月17日(日)



中学生の刀剣鑑賞を指導する石田氏

刀剣鑑賞では、慣れない手つきながら真剣に作法を実践する生徒たちの姿がとても印象的であった。姿を鑑賞しようとして、石田氏の太刀を立てて持

話を聞いた。

「職業人に学ぶ」に奉仕 刀剣文化の啓発と普及を目指す若手刀職有志の団体「鉄芸」が、去る二月十二日、中学校の特別授業で刀剣に関する授業を行った。

一方、実演する藤代氏を真剣な顔つきで円座して取り囲む生徒たちは、折驚きの声なども上がり、親しみやすい氏の語り口に、こちらは見飽きぬという感がある。

最後の質疑応答では、担当の先生も驚くほどに挙手があり、子供たちの関心の高さがうかがうことができた。



研磨の実演と解説に当たる藤代氏



渡邊館長の解説に聞き入る参加者

城は来物を中心に、さらに刀装具は後藤物があった。午後四時から、渡邊妙子館長よりの鑑賞刀について一振ずつ

り、刀装具は日本美術刀剣保存協会の審査員である萩原守氏から解説があった。

午後五時半からは、隣接のレストラン「松韻」にてご来場の方々、佐野美術館スタッフを含めた懇親会が行われ、七時過ぎまで鑑賞会や刀談義に花を咲かせた。

は、慣れない手つきながら真剣に作法を実践する生徒たちの姿がとても印象的であった。姿を鑑賞しようとして、石田氏の太刀を立てて持